

質問順		第542回 令和7年3月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
1	9	小倉 裕子	(1) 告知放送のシステム更新について	① 詐欺まがいの電話が多く、もはや怖くて電話に出られない、または家族から出ることを止められている家庭が増えているが、安全な通話手段を提供することについてどのように考えるか。	町長
				② 告知放送専用機器はLCV回線。LINE等のアプリは各々の通信契約。それ以外はICT端末で音声だけ流す、とのことだが、ICT端末使用のための通信方法は。通信費は誰が負担するのか。	
				③ 現在計画している新しい告知放送専用機器・ICT端末の単価と想定している数量、運用・サポートに関する費用は。それらの費用には、「富士見町有線放送施設更新基金」「富士見町有線放送財政調整基金」の両方が充てられるのか。補助金はあるのか。	
				④ 令和6年9月の告知放送についての一般質問の答弁の一つに、「双方向伝達機能には、それなりの体制が必要で現在町では対応が困難」とあったが、必要という認識が少しでもあるならば、その体制を作っていくことが必要だと思うがどう考えるか。	
				⑤ 令和6年9月の告知放送についての一般質問の答弁の一つに、「複数のツールを用いて情報伝達を実施」とあったが、災害情報を確認するのに、どれを見たらいいのかわからない、欲しい情報がない、という声に答えていないと思うがどう考えるか。	
2	5	牛山 吉彦	(1) 持続可能な森林整備・管理への富士見町の取り組みについて	① 森林所有者が不明であったり、管理方法などの知力(リテラシー)が十分でないことに対する、町の方針は。	町長
				② バイオマスの普及促進など地球温暖化対策実行計画(区域施策編)との連携を、どのような体制で進めていくのか。	
				③ ゴルフ場開発に伴う1996年和解条項には「水質・水量の調査や森林法による保安林の指定及び関係法令に基づく諸制度を総合的・体系的に活用することに努める」とあるが、町はこれまで何をしてきたのか。	
			(2) 「高精度な森林資源情報等の公開(林野庁)」の活用について	① 林野庁が推進する航空レーザー測量による地形調査は、森林管理だけでなく災害対応への活用が期待されるが、町の方針は。	町長
				② 防災ガイドブック更新の進捗状況や完成見込みは。また、当該データを防災ガイドブックに反映させる意向は。	
				③ 当該データの活用により、町の森林整備計画(ゾーニング)がより精緻に行えることが期待されるが、町の意向は。	
			(3) 長期的視点における富士見町の林務行政について	① 長期的視点に立った森林づくりを計画・指導していくために、町の林務体制は現状で十分と考えているのか。	町長
				② 森林総合監理士(フォレスター)を地域おこし協力隊や集落支援員などの制度を活用して採用すべきと考えるが、町の意向は。	
				③ 広域的な対応や連携が望ましいが、具現化のためにはどのようなスキームが考えられるか。	

質問順		第542回 令和7年3月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
3	2	山口 肇	(1) 農業施策について	① 水田活用直接支払交付金の対象となる耕作地のうち、現在までに畑地化申請や水張の実施された耕作面積は。	町長
				② 畑地化申請や水張のされていない耕作地所有者に対して、どのような働きかけをしていくのか。	
				③ 政府は、水田活用直接支払交付金や水張について見直しを検討している。それにより町の対応に変更はあるか。	
				④ 飼料や燃料の高騰により酪農経営が厳しいとの報道がされている。町として支援を考えているか。	
			(2) 障害者支援について	① 「第7期富士見町障害福祉計画」に掲げられた計画の達成状況は。令和7年度、重点をおいて進めようとしている施策は何か。	町長
				② 計画の中に、町内での事業所開設等に対する協力支援とある。これまでに行った支援の内容は。今後予定されている支援はあるか。	
				③ 町内の障害者支援事業所に対して、どのような支援を行ってきたか。また、令和7年度は、どのような支援をする予定か。	
			(3) 中学校部活動の地域移行について	① 指導者に支払われる費用の内容は。	教育長
				② 指導員の技術技能の向上に関わる費用は、支給対象となるか。	
				③ 部活動の地域移行に伴い、保護者負担が検討されている。保護者の負担金は何に使われるのか。	
				④ 中学校部活動の地域移行は、これまでの中学校部活動とは、全く違うものになると考える。新たな地域クラブの創設という言い方が適当ではないか。	
			4	10	西 明子
② 審議会・委員会に占める男女比と若者の割合は。10代や20代の委員の参加状況は。					
③ 女性・若者の参画について町の課題と令和7年度に向けた具体的な取り組みは。					
(2) 包括的性教育への町の理解と取り組みについて	① 包括的性教育についてどのように理解しているか。	教育長			
	② 包括的性教育は学校教育だけでなく、家庭教育、社会教育などさまざまなところから進めることができる。包括的性教育の推進に取り組む考えは。				
	③ 第6次富士見町男女共同参画計画の施策の体系のなかに「性と生殖に関する健康と権利(SRHR)の意識啓発」とある。具体的な取り組み状況は。				
(3) 富士見町地球温暖化対策実行計画における町としての取り組み	① 富士見町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)では「施設の新築を行うときは原則としてZEB Ready相当を目指す」とあるが新設する児童クラブもその想定か。	町長 教育長			
	② 町の率先行動の1つとして公共施設の再生可能エネルギー電力の導入を検討している点について、今後の道筋は。				

質問順		第542回 令和7年3月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者	
5	1	織田 昭雄	(1) 諏訪南インター周辺の開発計画について	① 下水道整備が完了し、テクノ街道の舗装工事などインフラ整備も進んだが、諏訪南インター周辺への企業誘致はこれから先どの様に進めて行くのか。	町長	
				② 企業誘致に向けての活動はどのような活動が行われているのか。		
			(2) 国道や県道の改良工事について	① 町内を通る国道や県道の改修や改良について、現在計画が進んでいる案件はあるか。		町長
				② 富士見保育園前の県道への出入り口や大カーブ、瀬沢のヘアピンカーブなどについては、何十年も前から改良の要望が出ているが、進展が無いように思われる。これらの改良計画の現状はどうなっているか。		
				③ 国道20号線富士見駅入り口信号機交差点において、塚平方面に向かう右折レーンを新設すべきではないか。町の考えは。		
			(3) 観光施策の充実について	① ハヶ岳方面の観光拠点の充実、パノラマリゾートの施設更新や補修計画、井戸尻考古館の建て替え、さらにはリニア開通後を見据えた構想など、今後の財源確保について、町長はどのように考えているか。		町長
				② 将来の富士見町における観光施策の充実に向けた構想について、町長がさまざまな機会で表明しているが、来年度の予算案において、その実現に向けた予算措置を講じた計画はあるか。		
				③ 観光施策の充実に向けた構想のスケジュール案と公共施設再編方針との整合性について、どのように考えているか。		
			6	6		渡辺 葉
② 設備投資による観光施設の収益増だけでなく、税収増を含む町中長期財政シミュレーションに与える影響や、地域への経済効果などを推計し、町民に分かりやすく伝え、合意形成を図るか。						
③ 入山税など財源確保に向けた町の考えと動きは。						
(2) 観光振興による地域内経済循環施策について	① 集落内の歴史文化を活用した体験型コンテンツを主としたパッケージ強化やインバウンド向けガイド養成、店舗開業支援や周遊チケット対象拡大、リゾートでの食材地産地消に向けた生産者との連携など、観光客や外貨を地域内で循環させるための施策について町の考えは。	町長				
	② 宿泊者への割引をリゾートHPに掲載するなどの宿泊促進、民泊を始めるハードルを下げるための空き家改修補助金の適用や民泊プラットフォームと連携したセミナー開催などについての町の考えは。					
	③ 町内観光資源を俯瞰し事業者、住民、行政の連携を促し、地域の稼ぐ力を引き出す戦略を策定・推進する観光地域づくり法人(DMO)設立と、地域プロジェクトマネージャーなど国財を活用した人材配置に向けた町の考えは。					

質問順		第542回 令和7年3月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者	
7	3	矢島 尚	(1)	公共施設への地球温暖化対策について	① 町内公共施設への太陽光発電設備設置の考えは。	町長
				② 国産開発の次世代太陽光発電の研究が進められ、まもなく事業化される予定だが、現段階でシリコン系のパネル型と次世代型のペロブスカイトとの設置判断をどう検討しているか。		
			(2)	小中学校の給食について	① 食欲に個人差はあるが保護者の方々から、給食の量を少し増やしてほしい声がある。その対応は可能か。	教育長
② 国の給食費無償化の検討がなされている昨今、財源など様々な課題が指摘されている。現在、町の1日当たりの給食費1名分は小学校が310円。中学校が360円。町の1名当たりの補助額が小学校25円、中学校30円。保護者負担は補助額を引いた分となるが、物価高騰が進む中、現状の給食費で賄えるのか。また補助額の見直しなど今後の見通しは。						
			(3)	小中学校の来年度タブレット更新について	① 5年ごとに更新されるが、更新にかかる費用と町の負担額はいくらか。またこれまでの期間中、破損や故障の対応内容と、その費用は。	教育長
8	7	名取 久仁春	(1)	八ヶ岳観光の強化について	① 八ヶ岳観光強化の概要と、この計画にかける町長の意気込みは。	町長
					② 創造の森の遊覧カートの延長距離と概算費用は。	
					③ 遊覧カートの乗り場の整備計画は。	
					④ 計画作成における地元住民や関連団体との調整はどのようにするのか。	
3月3日(月) 5名 1番～5番 4日(火) 3名 6番～8番						